



バラの会

楠

晋典
議員

▼新庁舎についての要望と可能性

Q 現在、基本設計が進められている新庁舎について、城下町らしい景観、噴水前市道の有効的な活用、閉会中の議場の活用、災害時避難所としての建物、子供の遊び広場、保育施設、市民憩いの場やイベントのできる広場、待ち時間に利用できるカフェ、レストランの可能性はあるのか。

A 城下町らしい景観、噴水前市道の有効利用、災害時避難所としての建物、市民憩いの場やイベントができる広場については検討を進めているが、子供の遊び広場、保育施設、カフェ、レストランについては、庁舎の面積や制度上の要件などの制約があると考えている。閉会中の議場の活用については、議会で協議をいただきたい。

▼市内の公園の状況と、より利用しやすいように

Q 公園や学校の遊具の点検はどのように行っているのか。

A 公園の遊具は、年に一回以上行う

定期点検と、職員が公園を巡回して行う日常点検を行っている。学校の遊具は、各学校で毎月一回安全点検を実施し、教育委員会に報告している。

Q 公園の草が刈られていなかったり、犬のふんがあると遊びに行けなくなる。公園の管理や美観に対する取り組みはどうか。

A 公園は多くの人が利用するため、犬猫のふんや不法投棄、犯罪などの被害がないように、巡回しながら整備に努めている。草などが繁茂している公園については、市内の業者やシルバー人材センターを活用しながら除草等を行っており、今後も利用しやすい公園を目指して管理に努めていきたい。

▼鯉の泳ぐまち付近の交通について

Q 清流亭がオープンし、鯉の泳ぐまち付近を散策する観光客がふえているが、交通規制についてどのような方向性なのか。

A 時間帯による歩行者専用道路の指定区間を設けるよう計画しており、これまでに二回の住民説明会を開催している。今後、地域の意見を聞いて調整していきたい。

【その他の質問項目】

◇消防団員の装備充実等

◇島原市ホームページについて



バラの会

本田

みえ
議員

▼女性検診等の受診率向上について

Q 国と本市の特定健診の受診率の平均はどのくらいか。

A 島原市は四十六・四％、国は平成二十四年度で三十三・七％である。

Q 乳がん、子宮がん検診の受診率の目標はどのくらいか。

A 五十％を目標としたい。

Q 特定健診やがん検診の受診率を向上させるための取り組みはどうか。

A 特定健診は、九月の強化月間に医師会や健康づくり推進員の力を借りて戸別訪問などを行っている。がん検診は、検診内容通知を世帯毎から今年度は個人毎にし、未受診者への勧奨を年一回から、今年度は十月と二月の年二回を予定している。

Q 雲仙市や南島原市のかかりつけ医でがん検診の受診は可能か。

A 南高医師会と新たな契約が必要である。償還払いを含め雲仙市、南島原市並びに両医師会と協議したい。

▼女性登用の目標義務化について

Q 島原市役所に女性管理職はいるのか。

A 平成二十六年度は一名いたが、定年により退職し現在はいない。職員三百八十四人の内、女性は八十一人で二十一・一％となっている。

Q 二〇二〇年までに女性管理職の割合を三十％にする国の目標についてどう考えているのか。

A 今年十月に国から行動計画の策定の指針が示される予定であり、行動計画を策定する中で設定していきたい。

▼介護保険制度改正後の対応について

Q 一割負担から二割負担に上がったが、対象の方はどのくらいか。

A 介護認定者のうち二割負担者は百六十三人であり、四・九％の方が負担増となっている。

Q 都市部から地方へ高齢者を移動させるCCRCを国が提案している。高齢者を受け入れる地方に負担を強いような制度ではないかと思うがどうか。

A 有識者の中間報告では、住所地特例で手当てするのではなく、新型交付金で対応するような情報がある。